

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年12月29日				
リエブラッツニ子玉川（児童発達支援）						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・スペースがあるためお子様の状況によって適宜対応できる点 ・環境整備のため、簡易的な仕切りを出し入れできる点 ・広く児童が使えるように、スペースを確保しています。ただ、スペースが広すぎると楽しくなりすぎて走り回ってしまうこともあるので環境的な配慮は必要だと感じます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・専門職が多い点 ・こどもの特性や行動に合わせた環境設定や人員配置を心がけている。 ・機能訓練担当と児童指導員、保育士など偏りがないように配置して、各専門職の視点から評価に定期的に入れるようにしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・冬の暖房効率のため、ブレイルームにサーキュレーターの導入の検討 ・物の整理(試行錯誤してます) ・来所後にカバンや上着を置く場所を入り口近くに設定し、イラストと文字で掲示している。 ・特に不便さはまだ見られていませんが、視覚的な構造化は少ないので改善が必要かと思っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・ブレイルームがひろい ・ものの整理(試行錯誤してます) ・こまめな換気や掃除、オモチャ類の消毒を行なっている。 ・毎日の床掃除や週1回の備品管理、整理を徹底しています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・パーティションで分けることができる ・スペースがあるので適宜対応できる点 ・他害がある児童や落ち着きがない児童を一時的に部屋を移して気持ちを落ち着けて戻る環境が整っています。子供のコンディションに合わせて対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・毎日ミーティングを行なっている ・大きなPDCAサイクルだけではなく、適宜分解してそこでも小さいPDCAを回すこと ・療育後の振り返りで児童の個別の目標を確認・調整している。 ・毎日振り返りの時間を設けてヒヤリハットや活動の目的次回のプログラムに反映する内容、各児童につく担当者の確認をしています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	60%	40%	・自己評価のアンケートを実施。 ・いただいたご意見を振り返りで共有しています。	自己評価・いただいた意見をにミーティングにて検討し、業務改善に努めます、
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・ミーティングにて聴取している ・毎日ミーティング(振り返りを行っていること) ・毎日の振り返り等で必要に応じて職員の意見を言いやすい場を設けている。 ・毎日振り返りの時間の中で各スタッフから必ず気になることなど共有してもらう時間を設けています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・開設年度なので第三者評価は実施していない ・第三者の外部評価は未実施。 ・第三者評価はまだ利用していません	

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間の研修がある際には、帰宅中も研修が受けられるようアドレスを配布している</li> <li>・月に1～2回のペースで事業所内勉強会と社内勉強会を実施しています。</li> </ul>	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	80%	20%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が専門職の立場でアセスメントをしている</li> <li>・振り返りで個々のアセスメントを確認し、記録に反映させ、保護者のニーズや課題に関しては面談を適宜設定している。</li> <li>・評価バッテリーを利用して、各児童の定量評価を行っています。</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議、日々のミーティングでアセスメントについて話し合っている</li> </ul>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの活動では、アセスメントを確認しプログラムを立案していり</li> <li>・各職員が直近の個別支援計画を確認し療育に携わっている。</li> </ul>	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易的なLDTRで言語をアセスメントしている</li> <li>・日々の行動観察は記録しているが、標準化されたツールは使用していない。</li> </ul>	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ専門職の立場で立案している</li> <li>・各児童についてカンファレンスを定期的に行っています</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの活動、身体遊び、バランスボールの体幹トレーニングは当施設の特徴のため、毎回行っている</li> <li>・定期的に実験などを行い。ルーティン化をしないように調整している</li> <li>・児童が楽しみながら活動に参加できるよう、プログラム内容は工夫しています</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの特性により集団活動の参加に上手く取り組みない場合は個別対応を行なっている。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングを毎日行っている</li> <li>・毎日のミーティングを行なっている</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のミーティングを行なっている</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日中に記録をしている</li> <li>・記録が提出忘れがないように声かけをしている。</li> <li>・新人については、内容を他スタッフが確認し表現や伝えたい意図の擦り合わせを行っています</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・所長が児発管が参加するようにしている</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・関係機関とは緊密に連絡を取り合っている ・主治医とは連携を取れる方が少ないですが、保育園などの通所先とは適宜連	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・保育所等訪問支援にて行っている ・必要に応じて保育所等訪問支援を案内している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・来年度から実施予定である ・就学支援シートなどの記載で情報共有をしている。 ・就学支援シートなどを活用して、無理のない合理的配慮などを提案していま	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	100%		・研修会の講師として呼ばれています。 ・連携は図っていますが、研修やスーパーバイズは受けたことはありません	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%		開設1年目ということもありましたので、今後、地域の就学前施設と一緒に行う活動を企画していきたいです。
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・もう少し親御さんと会話できる時間があるともっと良い	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	80%	・まだ実施できていないです	今後、ペアトレ等を企画していきたいです。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・利用者が年少であるため、本人の意向は確認していない	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・適宜面談の時間を設けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%	・今後の課題 ・保護者会の開催の未実施	保護者会を設定することを検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	60%	40%	・イベントをあまり行っていません。会社の会報は定期的に発行してお渡しし	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	20%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	・今後の課題	見学会開催を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・玄関に設置してありますが保護者の方が手に入る姿は見られないのでご案内やお声かけをする工夫をしたいと思います	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・避難訓練は年2回実施しています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・アレルギーや服薬確認は必ずしています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	60%	40%	・食事おやつは提供していません ・食べ物を出していませんので医師の確認までしていませんが、保護者にはアレルギーの有無は確認しています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	60%	40%		安全計画は回覧できるように設置しています。設置場所等について、保護者に周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ミーティング ・ヒヤリハット報告書と再発防止研修等行っています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・声掛けや制止の仕方など虐待になりかねない事案など確認しています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	60%	40%	・身体拘束が必要な利用者はいない ・身体拘束が必要な児童がいれば個別支援計画書に明記します	